

笑顔咲くまち「くす」

1月28日（土）に、楠子育て支援センター（旧楠南幼稚園）で開催しました。在宅の未就園児の親子を中心に、会場の中のいろいろなコーナーで、楽しい時間を過ごしてもらおうというイベントです。

当日はとても寒い朝でしたが、開催時刻前に、受付を待つ列ができました。

参加者は、14組の親子で39名（子ども17名、おとな22名）でした。

受付のあと、“おもちゃで遊ぶコーナー”、“CDを使った工作コーナー”、“手形などでデザインするカレンダーづくりコーナー”などに分かれて、思い思いのペースで過ごし始めました。部屋の中は暖房もきいていて暖かいのですが、それ以上に、子どもたちが活動している熱気がいっぱいでした。



別の部屋には、“バルーンアートのコーナー”があります。色とりどりの細長い風船をヒネって、長さを変えたり、他の風船とつなげたりして、動物や乗り物などを手早く作ってくれます。

ヘリコプター、パトカー、アンパンマンなど、でき上がったものの中から、お気に入りのものをもって、子どもはもちろん、大人も嬉しそうでした。





部屋の外には、“こにゆうどうくんと記念撮影ができるコーナー”があります。

小さい子どもの中には、こわがってしまい、お母さんから離れられない子もいましたが、こにゆうどうくんととのツーショットや、お母さんも一緒に並んでスリーショットで、カメラにおさまっていました。みんないい笑顔でした。

子育て相談の部屋もありましたが、相談室の中は、誰も見たり聞いたりできないので、その様子は紹介できません。

最後に、ホールに全員が集まって、人形劇を観ました。全部で3つのお話でした。どの話にも、子どもたちは集中して観て・聴いていました。

人形劇は撮影がNGということでしたので、右の写真は、人形劇の開始前のあいさつの場面です。

このイベントは、全体で1時間30分ほどの内容でした。とっても短く感じました。参加していただいた子どもも、お母さん・お父さんも楽しんでいただけたと思っています。

それぞれのコーナーで作った作品や、バルーンの乗り物などといっしょに、「楽しかった！」という思いも持って、帰っていただけたと思います。



この「笑顔咲くまち『くす』」は、四日市市（楠地区市民センター）と楠地区民生委員児童委員協議会の主催で開催（完全予約制）しました。

参加していただいた方々、ご来場ありがとうございました。また、それぞれのコーナーを運営していただいた方々をはじめ、このイベントに支援・協力をいただいた方々、ありがとうございました。